



山梨大学 工学部土木環境工学科附属
地域防災・マネジメント研究センター

Disaster and Environmentally Sustainable administration REsearch center, University of Yamanashi

プレス発表資料

平成27年4月28日
国立大学法人 山梨大学

平成27年度事業計画：山梨防災教育研究会

【事業の概要】

研究会の主な成果である、「実践的な防災訓練の普及」と「防災教育のための資料整備」について取り組むこととする。具体的には、以下の通り。

- (1) 実践的な防災訓練の普及に向けて、小・中・高等学校・特別支援学校を対象とした実践的防災訓練の手法についての教員向けの資料や啓発ビデオ等を整備し、各学校での実践を支援する。
- (2) 山梨県内の災害関連リストの作成及び山梨県の地域特性を踏まえた学校区別の防災カルテ（仮称）の作成、山梨県の自然災害に対する防災教育指導事例の検討。
- (3) 治水・砂防関連で提供されている防災関連事業と学校現場との効果的な実施のあり方についての検討を行う。

【役割分担】

- (1) 県庁の役割：実践的防災訓練の普及展開策の検討。
大学の役割：実践的防災訓練のための教材作成。
防災教育・啓発の効果的な教育・訓練手法の開発
- (2) 県庁の役割：県内の災害・防災に関する資料の確認。
山梨県における自然災害に対する防災教育指導事例の検討。
学校防災カルテ作成への協力。
大学の役割：県内の災害・防災に関する資料の確認。
山梨県における自然災害に対する防災教育指導事例の検討とコンテンツ制作。
学校防災カルテの設計・制作。
国土交通省の役割：災害・防災に関する資料の提供。
- (3) 県庁の役割：治水・砂防関連の防災関連事業の整理。
学校現場でのニーズ把握。
防災関連事業と学校現場との効果的な実施のあり方についての検討。
大学の役割：防災関連事業と学校現場との効果的な実施のあり方についての検討。
国土交通省の役割：治水・砂防関連の防災事業の整理。
防災関連事業と学校現場との効果的な実施のあり方についての検討。